

- トリアージ棟が完成しました
- 血液内科の外来移設 - 新たな扉 -
- 和痛分娩を開始しました
- 「Osaka Great Santa Run」によるオンラインクリスマス会が実施されました
- 滋賀県からワクチン接種協力への感謝状をいただきました
- 病院内での撮影および録音を禁止しています
- 公式Twitterアカウントを開設しました!

トリアージ棟が完成しました

病院長 田中 俊宏



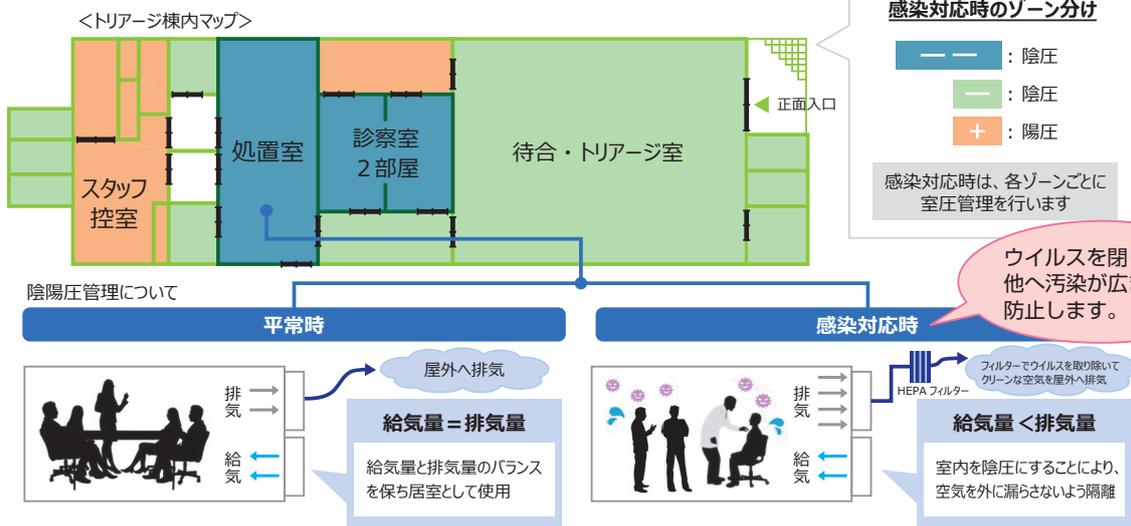
2021年10月に、トリアージ棟が完成しました。トリアージ棟は様々な感染症及び自然災害・大規模事故等に対応するために、外来診療棟に隣接しています。

トリアージ棟とは

建物は鉄骨造りの平屋で、延べ床面積は約215㎡です。文部科学省の「附属病院多用途型トリアージスペース整備事業」による助成を受ける等、公的な補助金を受けて設置しました。

感染症及び自然災害・大規模事故等に対応

建物内には、患者さん用の広い待合スペース、診察室2部屋、スタッフ控室、処置室などを整備するとともに、各スペースにウイルスの拡散を防ぐため空気の陰陽圧管理ができる機能があり、感染症疑いの患者さんに対して安全に問診や検査、治療を行うことが可能です。また、巨大地震や風水害発生時には、より多くの命を救うための治療の優先順位を決めるトリアージスペースとして展開することを想定しています。



記念式典を挙行了しました



(写真左から) 金子滋賀県病院協会会長・山本草津市副市長・田中病院長・上本学長・中條滋賀県副知事・佐藤大津市長・角野滋賀県健康医療福祉部理事

2021年11月8日(月)には、竣工記念式典を同棟内の待合・トリアージ室にて挙行之、学内外の関係者約25名が出席しました。なお、新型コロナウイルスの感染防止対策の観点から、参加者数を制限するなど、基本的な感染対策を徹底した上で挙行了しました。

今後は新興感染症の流行においても、院内感染リスクを回避することによって、高度な医療提供を継続できるように努めてまいります。

血液内科の外来移設 -新たな扉-

血液内科



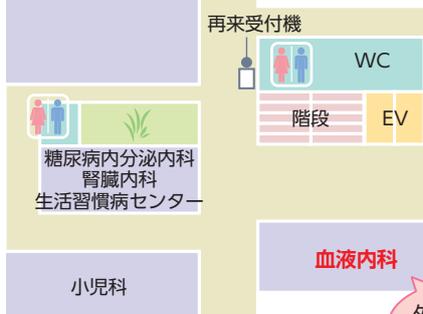
血液内科外来部門は、これまで消化器内科と同じブースで診療を行ってまいりましたが、近年、血液内科・消化器内科ともに、外来患者さんの増加により、外来部門が手狭になっていました。特に、血液内科では年間7,000人程度（1日平均27.9人）の外来患者さんを診察室1室で診ることが困難になっていました。

そこで、2階外来エレベーター正面のスペースを診療ブースに改修し、2022年1月から血液内科外来を移設いたしました。

これまで1室だった診察室は3室となり、より多くの患者さんの診療が可能となりました。



外来棟2階フロアマップ



外来エレベーター正面に移設

より一層の充実に向け、新たな扉を開くことができました。

今後とも、チーム医療をモットーに優しい医療を展開していきます。よろしくお願い申し上げます。

和痛分娩を開始しました

母子診療科

当院では2021年11月より、希望される妊婦さんに「和痛分娩」を提供する体制を整えました。

和痛分娩とは…

お産に伴う痛みを、お薬の力を使って和らげるというものです。

分娩が活動期に入った後に点滴から痛み止めのお薬を持続的に投与する方法で行います。

背中から針を刺す硬膜外麻酔による「無痛分娩」とは方法が異なりますが、点滴による投与でも一定の産痛緩和効果が得られることが報告されており、安全に使用できるとされています。

現在、日本における産痛緩和の取り組みは欧米に比べて遅れているのが現状です。無痛分娩の普及率は欧米で70-80%程度に対し、日本は約6%です。

決して痛みをすべて取り除けるわけではありませんが、少しでも産痛緩和を行うことで、出産の痛みに対する妊婦さんの不安を軽減したいと考えています。



「Osaka Great Santa Run」による オンラインクリスマス会が実施されました

小児科



2021年12月14日(火)に「Osaka Great Santa Run」によるオンラインクリスマス会が実施され、小児科病棟の子どもたちにサンタクロースからプレゼントの贈呈がありました。

子どもたちは、スマートフォンやタブレットを用いて、オンラインクリスマス会に参加し、その後、サブライズで病室にやってきたサンタクロースからプレゼントを受け取り、嬉しそうな笑顔を見せてくれました。



そっとプレゼントを置くサンタクロース

Osaka Great Santa Run とは…

サンタクロースの衣装を身にかけてランニング(歩いて可)することで、その収益が病気と闘う子ども達へのクリスマスプレゼントになる、チャリティイベントです。本学の学生が主体となって企画・運営を行っています。



実施に向けて企画・準備を行う本学学生

<Osaka Great Santa Run>
<https://www.santa-run.com/>



学生が作成したクリスマスカード

滋賀県からワクチン接種協力への 感謝状をいただきました

クオリティマネジメント課

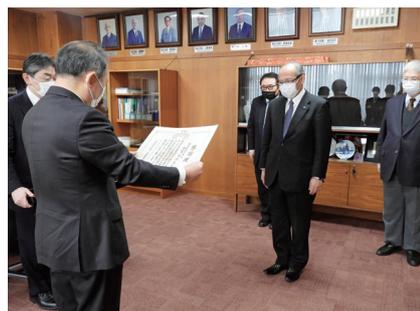
滋賀県が実施する新型コロナウイルスワクチン接種への協力・貢献に対して、2022年1月26日(水)滋賀県健康医療福祉部の市川部長から上本学長に感謝状の贈呈がありました。



2021年7月に設置された滋賀県広域ワクチン接種センター南部会場において、県からの要請を受け、当院の全診療科が協力し、すべての接種実施日に3名の医師を派遣しました。

特に2021年7月から9月にかけては土日祝日を含む毎日、医師を派遣し、2021年11月までの設置期間中に、延べ578名が責任医師あるいは予診医師の業務に従事しました。

また、追加接種(3回目接種)のため3月4日(金)から再設置された同センターにも引き続き医師を派遣しています。県だけでなく、大津市が実施する新型コロナウイルスワクチン集団接種についても、医師・看護師・薬剤師を派遣しており、今後の追加接種推進に貢献してまいります。



滋賀県健康医療福祉部市川部長(左)から感謝状を受領する上本学長(右から2番目)

病院内での撮影および録音を禁止しています

クオリティマネジメント課



病院内撮影・録音禁止 No Photography・No Recording

当院では、患者さんや職員の個人情報やプライバシー保護の観点から、病院の施設および敷地内での写真や動画撮影・録音を禁止しています。
(医療上、必要と認める場合を除く)

【注意事項】
・医療上必要な撮影や録音を行った場合においても、他の患者さん、来院者、職員などが写り込む場合や音声が発せられる場合があります。その場合には画像（録音を含む）の消去をお願いします。また無断使用は固くお断りします。
・他の患者さん等からクレームがあり、撮影や録音が利用された場合は、フィルム及びデータを消去いたします。
・撮影した写真等を SNS などのインターネット上で公開し掲載が実施した場合、投稿者の責任であり、当院は一切の責任を負いません。また、当院がクレームや被害届の請求を受け、何らかの侵害を被った場合には、撮影者や録音者に対して損害賠償を求める場合があります。

病院長

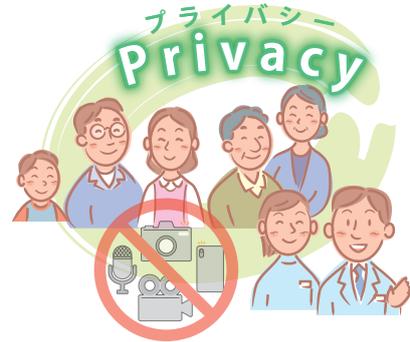
院内に掲示しているポスター

当院では、患者さんや職員の個人情報やプライバシー保護のために、病院の施設および敷地内での写真・動画・音声等の撮影や録音を禁止しています。病状等により撮影や録音を必要とされる方は、必ず医師や看護師にお申し出ください。

なお、医療上必要として撮影や録音をした場合でも、他の患者さん、来院者、職員などの情報が写り込む場合や音声が入ってしまう場合があります。その場合には、対象となるデータ等の消去をお願いすることがあります。

また、撮影や録音をした画像・動画・音声等の無断使用は固くお断りいたします。

個人情報とプライバシー保護のために、ご理解、ご協力くださいますよう、どうぞよろしくお断りいたします。



公式Twitterアカウントを開設しました！

総務企画課



情報発信の強化及び多角的な広報のため、この度、公式Twitterアカウントを開設いたしました。

フォローをお願いします！

【滋賀医科大学公式Twitter】
@shigaikadai_pr

本学や附属病院の活動、公開講座等のお知らせを随時ツイートしていきますので、お気軽にフォローください。



滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する『全人的医療』」

滋賀医大病院ニュース第62号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

TEL：077(548)2012(総務企画課)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。



●理念を実現するための 基本方針

- 患者さんと共に歩む医療を実践します
- 信頼・安心・満足を提供する病院を目指します
- あたたかい心で質の高い医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 先進的で高度な医療を推進します
- グローバルな視点を持ち、人間性豊かで優れた医療人を育成します
- 将来にわたって質の高い医療を提供するため、健全な病院経営を目指します